

# DATASETTABLEの構成

技術サービス部 サービス課

# 目次

- データセットテーブルとは
  1. Band
  2. Column Header
  3. Report Header
  4. Report Footer
  5. Group Header
  6. Group Footer
- その他機能
  1. 重複の削除
  2. 描画の継続
- 綺麗なデザインを設計するには
- デザイン参考FAQ

# データセットテーブルとは

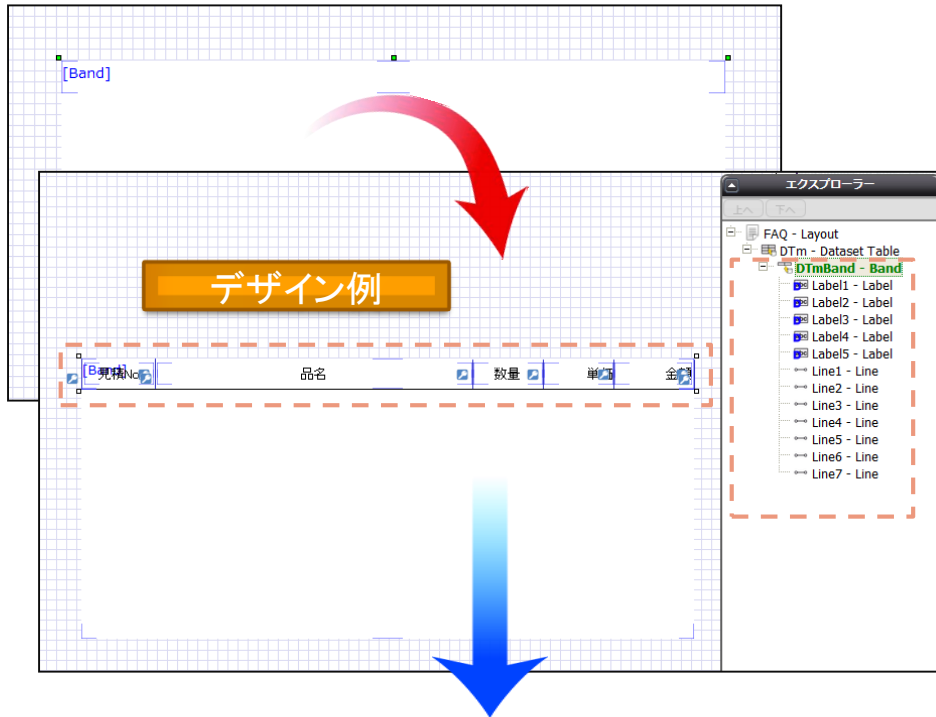


- 明細行(繰り返し部)を作成するコンポーネントです。データセットテーブルには、「バンド」と呼ばれる、特定の動作をする領域を作成することができます。それらを組み合わせてデザインすることで、明細が多く帳票が複数ページに渡る場合にも、用途に合わせたデザインを作成することが可能になります。



- OPROARTS Liveで使用できるバンドは以下の6つあります。
  - Band
  - Column Header
  - Report Header
  - Report Footer
  - Group Header
  - Group Footer

# 1. Band(ノバンド)



出力結果

Q001	初期費用①	1	10,000	10,000
Q002	初期費用②	2	20,000	40,000
Q003	ランニング費用①	1	20,000	20,000
Q004	ランニング費用②	1	10,000	10,000

- Dataset Tableコンポーネントを配置した時から存在しているバンドです。削除することはできません。
- このバンドがDataset Tableの高さの分繰り返されますので、ここには明細部のデザインが想定されます。

## 2. Column Header (カラムヘッダー)

バンド

- レポートヘッダ
- レポートフッタ
- カラムヘッダ
- グループヘッダ
- グループフッタ
- グループ毎にページを変更する

描画領域の追加

[Column Header]

明細No 品名 数量 単価 金額

デザイン例

エクスプローラー

- FAQ - Layout
- DTm - Dataset Table
- DTmColumnHeader - C
- Line8 - Line
- Label7 - Label
- Label6 - Label
- Label9 - Label
- Label10 - Label
- Label8 - Label
- Line9 - Line
- Line10 - Line
- Line11 - Line
- Line12 - Line
- Line13 - Line
- Line14 - Line
- Line15 - Line
- DTmBand - Band

- 見出し行の役割をします。
- 帳票が複数ページに渡る場合、2枚目の先頭にも表示されます。また、明細がないページには表示されません。

出力結果

明細No	品名	数量	単価	金額
Q001	初期費用①	1	10,000	10,000
Q002	初期費用②	2	20,000	40,000
Q003	ランニング費用①	1	20,000	20,000
Q004	ランニング費用②	1	10,000	10,000

## 2. Column Header (カラムヘッダー)

1

見積書

発行日 見積番号

テスト株式会社

〒111-1111  
東京都千代田区千代田 1-1-1

TEL 03-1111-1111 / FAX 03-1111-1111

※カラムヘッダー

品名	数量	単価	金額
商品1	10,000	1.0	10000.0
商品2	20,000	1.0	20000.0
商品3	30,000	1.0	30000.0
商品4	40,000	1.0	40000.0
商品5	1,000	1.0	1000.0
商品6	2,000	1.0	2000.0
商品7	25,000	1.0	25000.0
商品8	100,000	1.0	100000.0
商品9	15,000	1.0	15000.0
商品10	30,000	1.0	30000.0
商品11	120,000	1.0	120000.0
商品12	35,000	1.0	35000.0
商品13	70,000	1.0	70000.0
商品14	150,000	1.0	150000.0
商品15	1,000	1.0	1000.0
商品16	20,000	1.0	20000.0
商品17	50,000	1.0	50000.0
商品18	45,000	1.0	45000.0

小計 450000.0  
消費税(3%) 13500.0  
合計 463500.0

レポートフッタ

• 動作は2パターンです。

1. 明細が存在しない時は表示しない
2. 改ページ時に表示する

2

見積書

発行日 見積番号

テスト株式会社

〒111-1111  
東京都千代田区千代田 1-1-1

TEL 03-1111-1111 / FAX 03-1111-1111

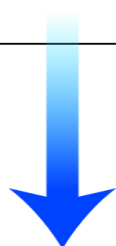
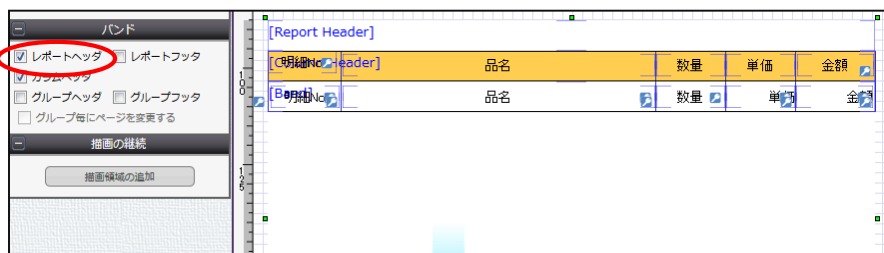
※カラムヘッダー

品名	数量	単価	金額
商品1	10,000	1.0	10000.0
商品2	20,000	1.0	20000.0
商品3	30,000	1.0	30000.0
商品4	40,000	1.0	40000.0
商品5	1,000	1.0	1000.0
商品6	2,000	1.0	2000.0
商品7	25,000	1.0	25000.0
商品8	100,000	1.0	100000.0
商品9	15,000	1.0	15000.0
商品10	30,000	1.0	30000.0
商品11	120,000	1.0	120000.0
商品12	35,000	1.0	35000.0
商品13	70,000	1.0	70000.0
商品14	150,000	1.0	150000.0
商品15	1,000	1.0	1000.0
商品16	20,000	1.0	20000.0
商品17	50,000	1.0	50000.0
商品18	45,000	1.0	45000.0

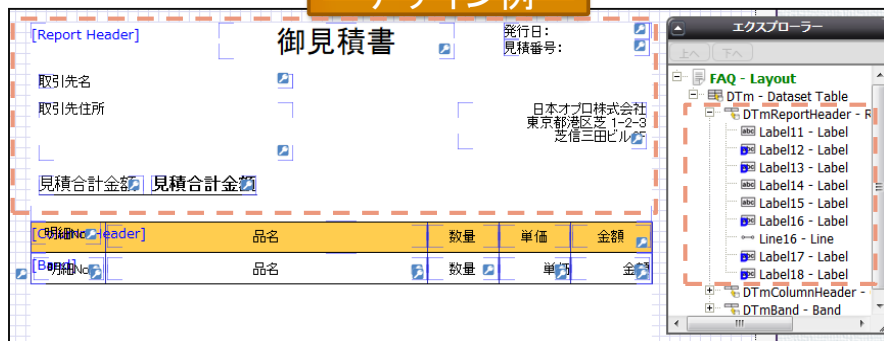
小計 450000.0  
消費税(3%) 13500.0  
合計 463500.0

レポートフッタ

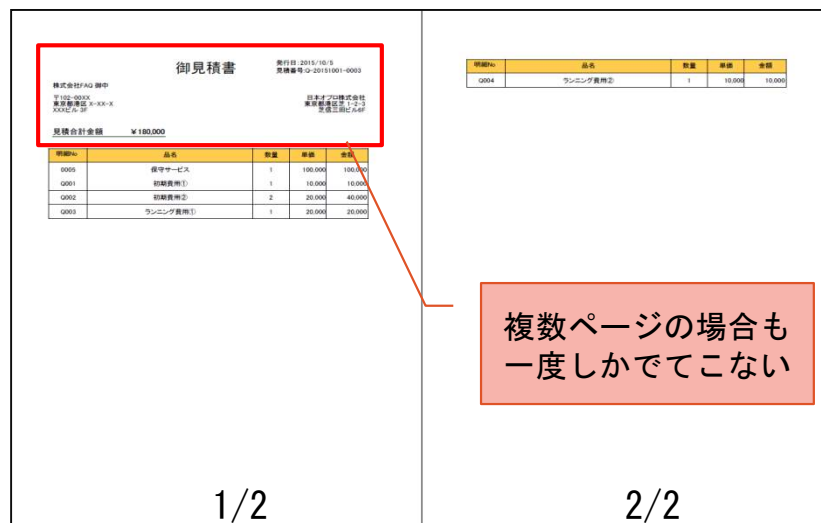
# 3. Report Header (レポートヘッダー)



デザイン例



- DatasetTableで最初に一度だけ表示される領域です。
- 取引先名などのヘッダ情報のデザインが想定されます。
- 集計関数が指定できるため、明細の総合計等の算出が可能です。

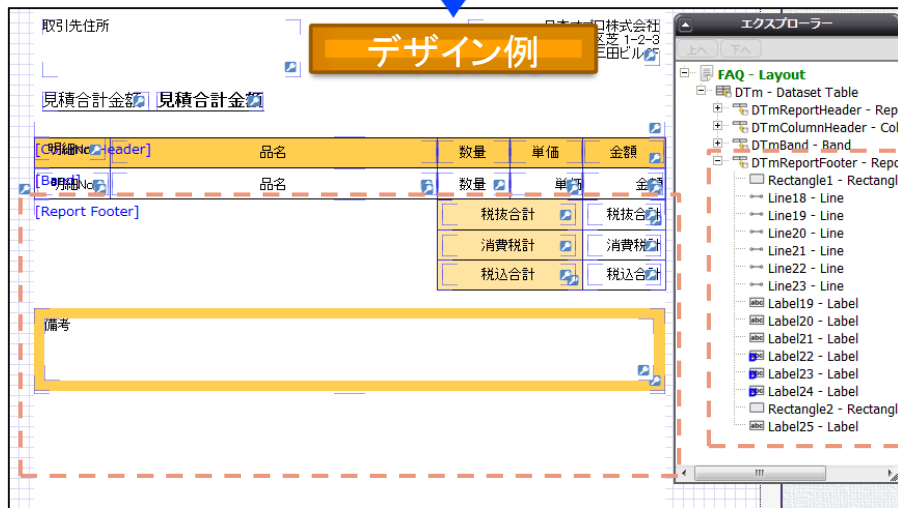
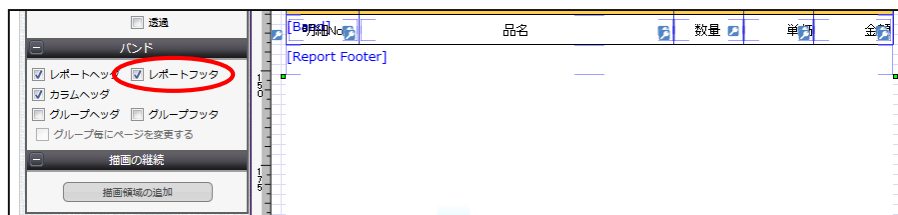


1/2

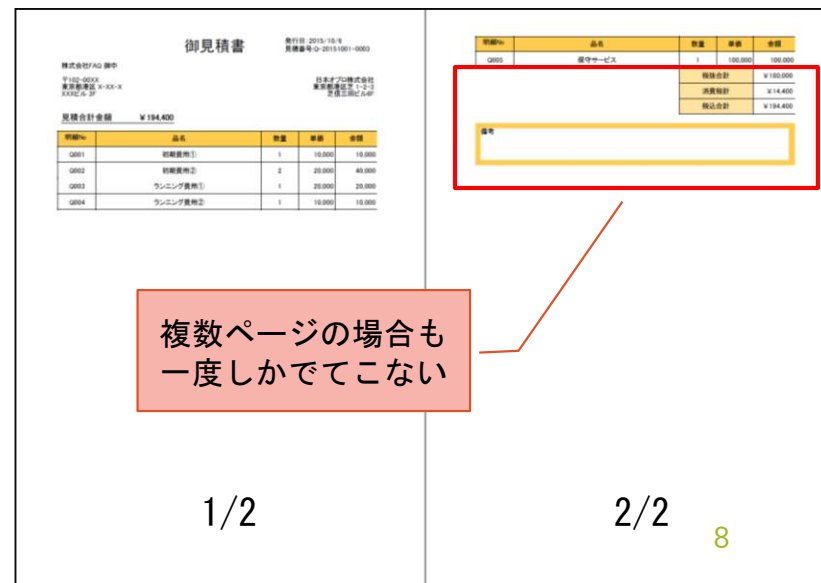
2/2

複数ページの場合も  
一度しかでてこない

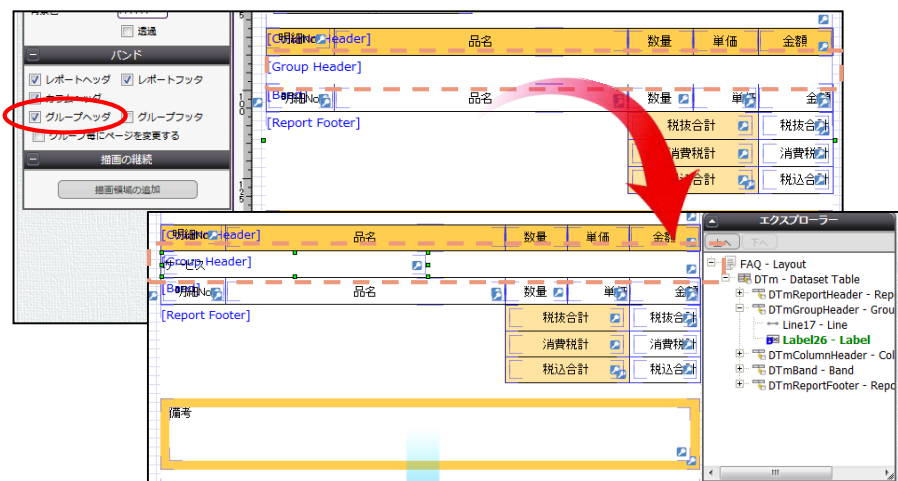
# 4. Report Footer (レポートフッター)



- DataTableで最後に一度だけ表示される領域です。
- 備考や明細行の集計などのフッタ情報のデザインが想定されます。
- 集計関数が指定できるため、明細の総合計等の算出が可能です。



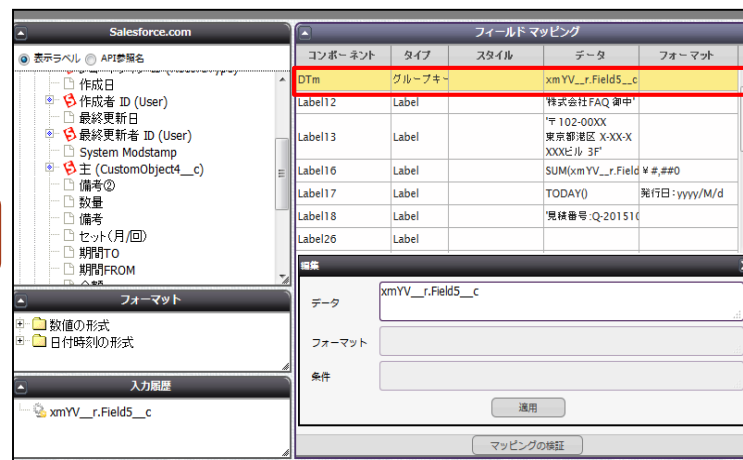
# 5. Group Header (グループヘッダー)



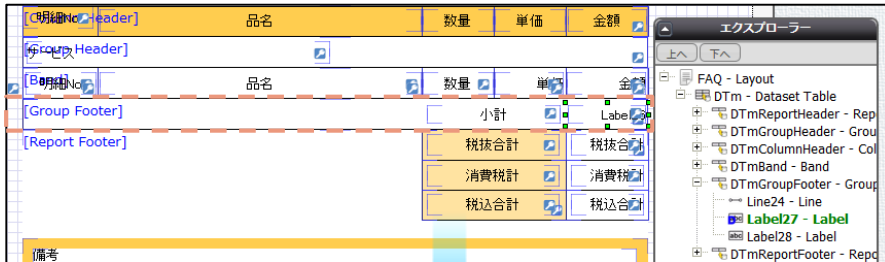
- 明細のグルーピングを行うことができ、グループの最初に表示される領域です。
- グループヘッダ・フッタを選択すると、マッピング画面で「グループキー」を指定できます。
- 集計関数が指定できます。ここで集計関数を使用するとグループ毎の集計になります。

明細No	品名	数量	単価	金額
サービス①				
Q001	初期費用①	1	10,000	10,000
Q003	ランニング費用①	1	20,000	20,000
サービス②				
Q002	初期費用②	2	20,000	40,000
Q004	ランニング費用②	1	10,000	10,000
Q005	保守サービス	1	100,000	100,000

グルーピング

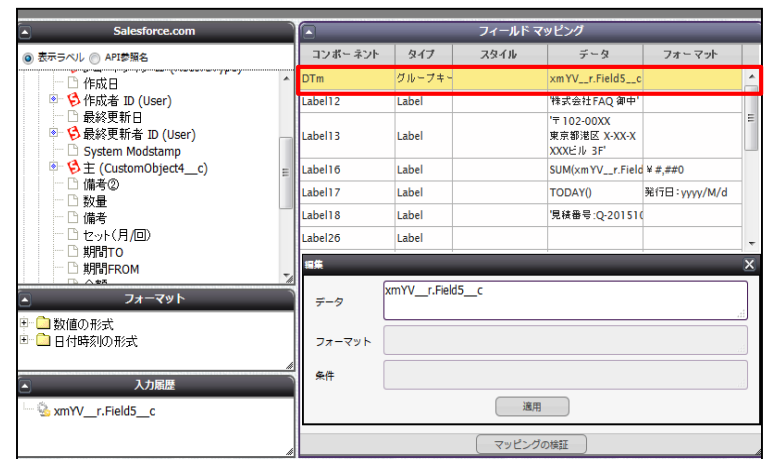


# 6. Group Footer (グループフッター)



- 明細のグルーピングを行うことができ、グループの最後に表示される領域です。
- グループヘッダ・フッタを選択すると、マッピング画面で「グループキー」を指定できます。
- 集計関数が指定できます。ここで集計関数を使用するとグループ毎の集計になります。

明細No	品名	数量	単価	金額
サービス①				
Q001	初期費用①	1	10,000	10,000
Q003	ランニング費用①	1	20,000	20,000
小計				¥30,000
サービス②				
Q002	初期費用②	2	20,000	40,000
Q004	ランニング費用②	1	10,000	10,000
Q005	保守サービス	1	100,000	100,000
小計				¥150,000
			税抜合計	¥180,000
			消費税計	¥14,400
			税込合計	¥194,400



## 6.補足 – 集計関数とは(Salesforce連携)

フィールドマッピング

集計関数

集計が必要なマッピングです。集計関数を選択してください。

集計関数

SUM  COUNT  AVG  MAX  MIN  TOP  BOTTOM

条件付き集計関数

SUMIF  COUNTIF  AVGIF  MAXIF  MINIF  TOPIF  BOTTOMIF

SUM ( OpportunityLineItems .TotalPrice )

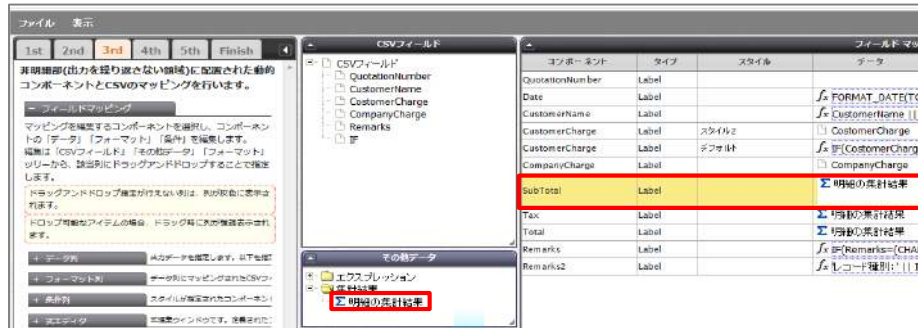
合計値を出力します。

引数1:集計対象 フィールドを指定します。同じオブジェクトのフィールドを複数指定する事も出来ます。式は「演算子」「関数」を用いて作成してください

OK

- 明細オブジェクトの項目を、Band以外の場所にマッピングすると、集計関数が表示されます。
- 集計関数を利用することで、明細の合計やレコード数のカウントなどが可能です。
- 詳細は、FAQ7579 「「集計関数が必要なマッピング」とでてきました」をご覧ください。

# 6.補足 – 集計関数とは(csv,kintone連携)



- 集計関数を利用することで、明細の合計やレコード数のカウントなどが可能です。

- 集計結果をいれたいフィールドに「明細の集計結果」をマッピングする。
- 5thに、明細の集計結果に指定したフィールドが増えているので、集計関数をマッピングする。



# その他機能



チェックをつけていない時

見積書No	品名
サービス①	
Q-0001	初期費用①
Q-0001	ランニング費用①
サービス②	
Q-0002	保守サービス
Q-0002	初期費用②
Q-0002	ランニング費用②

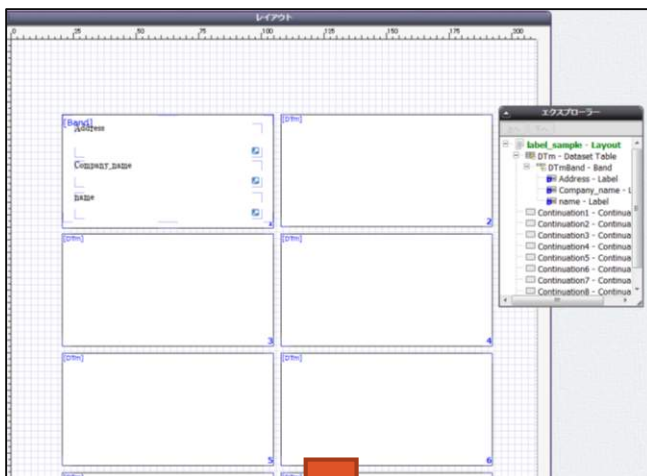
## 1. 重複の削除

Bandで使用ができます。チェックをつけたLabelに同一のデータが入った時、2つ目以降は空白となります。

合計請求金額 ￥194,400

見積書No	品名	数量	単価	金額
サービス①				
Q-0001	初期費用①	1	10,000	10,000
	ランニング費用①	1	20,000	20,000
小計				¥30,000
サービス②				
Q-0002	保守サービス	1	100,000	100,000
	初期費用②	2	20,000	40,000
	ランニング費用②	1	10,000	10,000
小計				¥150,000
税別合計				¥194,400

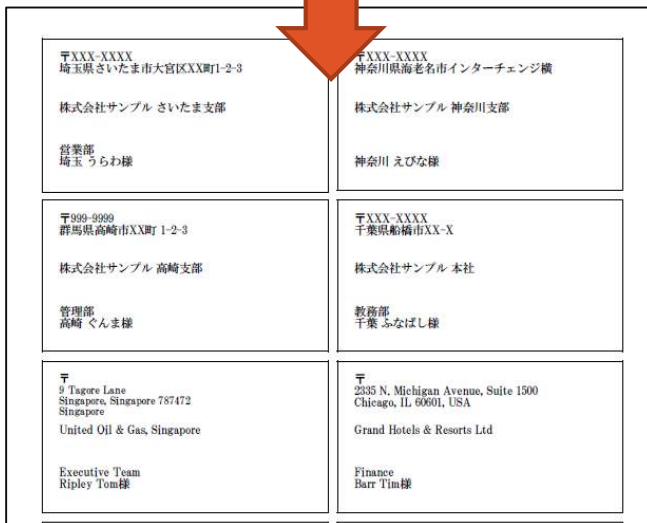
# その他機能



## 2. 描画の継続

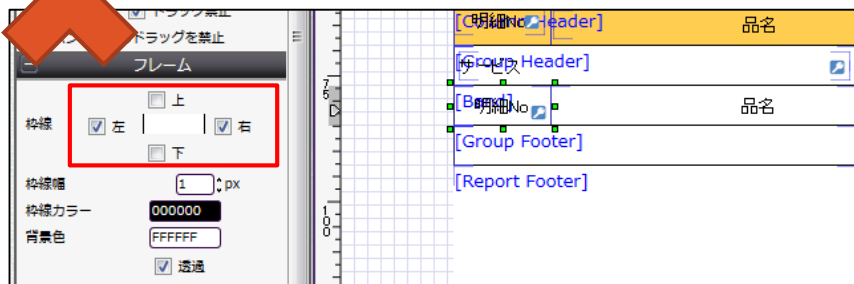
DatasetTableの領域を複数作成することができます。データは[Band]の内容が続いて表示されます。

作成した順に右下に表示順がふられます。





## 綺麗なデザインを設計するには - 2



- 罫線を引きたい時に、Labelコンポーネントの枠線を使用することは避けていただくことを推奨しています。Lineコンポーネントを使い、Labelと別に線を引いてください。
  - 線と文字の間隔の調整ができない為、線と文字がくっついて表示されます。また、メンテナンスが不便です。
  - コンポーネント数が多くテンプレートが重い場合は、コンポーネント数をできるだけ減らすようお願いしています。その場合は、Labelの枠線を使用することを奨めています。



# デザイン参考FAQ

- No. 7376 OPROARTS Liveの基本的な使い方の動画やドキュメントなどがほしい
  - <https://ssl.okweb3.jp/opro/EokpControl?&tid=92885&event=FE0006>
- No. 7345 明細行の罫線を常に表示させたい
  - <https://ssl.okweb3.jp/opro/EokpControl?&tid=92308&event=FE0006>
- No. 7427 「空のフッタを繰り返す」とはなんですか？
  - <https://ssl.okweb3.jp/opro/EokpControl?&tid=93662&event=FE0006>
- No. 7364 DatasetTableの各バンドについて教えてください
  - <https://ssl.okweb3.jp/opro/EokpControl?&tid=92712&event=FE0006>
- No. 7579 「集計関数が必要なマッピング」とでてきました
  - <https://ssl.okweb3.jp/opro/EokpControl?&tid=95863&event=FE0006>



**OPRO**

